

サロン案内

名 称	寄ってケア
開催日	奇数月~第2火曜日・第4火曜日 偶数月~15日・第4火曜日
時 間	13時30分~16時30分
場 所	サビア「にこにこサロン」
代表者	野村五郎
連絡先	ぬくもり福祉会たんぼぼ 042-972-8611
対象者	幼児から高齢者まで特に制限なし

こんな居場所です

寄ってケアは、誰でもが気楽に参加できる居場所作りを目指して開設しました。介護のこと、子育てのこと、ご近所とのコミュニケーションのあり方を話し合ったり、手芸・押し花・粘土遊び・季節ごとの行事に関する催し等を通じて、楽しくお互いのコミュニケーションを図る場です。

エピソード

開設から2年近くが経過し、様々な方々が参加されています。最少年齢1歳から80歳代の方まで実に様々です。当初はいろいろと試行錯誤もありましたが、最近は相談業務以外参加者の方々が、それぞれ得意な事を他の方々に指導しながら和気あいあいとお話されており、私達がめざす全員参加型の居場所作りにだんだん近づいているような気がしています。

運営には駿河台大学の学生も時間の空いている日は参加したり、留学生に会いたいからとわざわざ参加していただいている方もいらっしゃいます。

先日初めての参加者の方が友達に同行されてお出でいただいているところへ、サビアのフードコートで食事していた女子高生3人が参加してくれました、この中の一人と初めての参加者の方がお互いを指さしながら「ここでなにしてるの」とびっくり、普段頻繁に会えない親戚同士だとのことで居場所作りの不思議な御縁に感動のひと時でした。

私たちは、このような居場所を、飯能市内にたくさん開設し地域福祉に役立てたいと思っています。

寄ってケアの風景



クリスマスリース作り



粘土遊びを楽しむ姉弟

サロン案内

名 称	すぎなの会
開催日	不定期(土曜日、2か月に1回程度)
時 間	11時00分~14時00分
会 場	たんぼぼ田園倶楽部
代表者	田中貴絵
連絡先	ぬくもり福祉会たんぼぼ 042-972-8611
対象者	パーキンソン病の方

こんな居場所です

すぎなの会は、パーキンソン病の仲間の会です。一緒に昼食を楽しみながら、家族のこと、季節の話題など、次から次へと話題が飛び出して笑い声が絶えない楽しい会です。病と上手につきあう生活の知恵を伝えあったり、症状への対処の方法を話し合ったりもしています。どうぞお気軽にお越しください。

エピソード

みなさん集まってのお話がとても楽しい様子、趣味や特技が多彩です。毎回主役が代わります。ある時は民謡から懐かしい歌謡曲まで素敵な歌声を聞かせてくれる方がいたり、体操を音楽に合わせて披露してくれたりしています。とても無口な方が、樹木や草木の知識を話して下さったこともありました。

病を持っていると暗くなりがちですが、皆さんここではとても笑顔です。病のつらさを和らげる工夫をお互いに伝えあうと「私もやってみようかな」と話が広がります。

お互いに思いやることができるのも、この会の魅力だと皆さんおっしゃいます。同じ病を持っているからこそ、病状の変化もわかりあうことができます。一人だと不安になるような体調の変化もお互いに話をすることで安心できるとおっしゃいます。「来てよかった」と楽しみにしていただいています。

すぎなの会風景



皆さんで話し合い



皆さんで軽い体操

サロン案内

名 称	日高の茶の間
開催日	不定期(木曜日)
時 間	11時00分~15時00分
開 場	日高市(代表者自宅)
代表者	鹿野美智子
連絡先	ぬくもり福祉会たんぽぽ 042-972-8611
	代表者宅 042-989-1451
対象者	障がいの方や近所の方々、その他どなたでも

こんな居場所です

鹿野さんのご自宅は、ご夫婦で野菜や果物をそだてていらっしゃいます。ザクロやイチゴ、柿、みょうが、ふきのとう、季節のものが畑や庭に沢山あり目を喜ばせてくれます。

普段、誰かと話をしたいな。話をしたいけどそばにだれもいないし。そんな時、ちょっと寄って気軽に話せる居場所です。

こんな話がありました

ご近所の方が庭でとれたミカン持参で参加されたり、障がいをもった若い男性の方も参加されています。この方は外出もままならず、「鹿野さんちにまた行きたい」「鹿野さんちがいいな」といつも話していらっしゃいます。以前、庭でとれた野菜を使って大きな鍋で作った具沢山の、すいとんやけんちん汁を食べながら「とっても美味しいね」と皆で話が弾んだこともあり、皆さんと会えるのを楽しみにしていらっしゃいます。

「年をとるとさびしい・・・誰かと話したい・・・という気持ちが強くなるんだよね」人は一日一日が今日も楽しかったね、明日もまた楽しいかなと思えるように過ごしたい。障がいをもった方も、若者も高齢者も誰でも話せる場所があってよかった。そんな居場所を目指しています。

日高の茶の間風景



皆さんでの語らい



飾り作り

サロン案内

名 称 たんぽぽ短歌の会
開催日 毎月 1 回(日曜日)
時 間 13 時 00 分~16 時 00 分
会 場 飯能市宮脇書店
代表者 牛尼けい子
連絡先 ぬくもり福祉会たんぽぽ ☎042-972-8611
対象者 短歌の好きな方

こんな居場所です

短歌の楽しさをたくさんの人に知ってほしいと、たんぽぽ短歌の会は 2 年前に生まれました。身の回りの自然、日々の出来事や思い出をめぐる環境や心情等を三十一文字に込めて作品づくりに励んでいます。月 1 回の集いですが、ベテランの方々に指導を頂きながら、初心者の方も互いに意見を交わし、自分では気づかない点を示され「なるほど」と共感しつつ楽しい時を過ごしています。

こんな話がありました

足腰が弱くなったり、いろいろの理由で外に出ることが難しくなっても、そのお宅に人が集まって楽しくおしゃべりする。今まで培ってきた知識や経験をお互いに交換したり次世代に繋げて行く、教え教えられそこに喜びや幸せが感じられる、何時になっても役割がある、それが居場所だと思います。

万葉の昔から短歌は日本の文芸としてたくさんの方が勉強してきました。時代と共に表現方法は変わってきましたが、日本人の心は千年の昔から変わっていないと思います。悠久のロマンを語り、また生きざまを話してくださる先生方の熱意に引き込まれ楽しいひと時を過ごすとともに、それがまた明日への活力となっています。

短歌は初めての方、気軽に”短歌でおしゃべり”しませんか。

たんぽぽ短歌の会



短歌の会一こま

短歌作品

坂道の石も雪解 ^{ゆきげ} のぬかるみも記憶の地図 ^{あなうら} を足裏は持つ	貞子
これまでと置いて置きし鉛筆をいつか用いぬ成らせな一首	貞子
日暮らしの鳴く声聞けば目に浮かぶ終戦の日の雲の流れを	喜美子
亡き夫が植えにし花よむらさきの背高き紫苑 ^{しおん} 活けてお月見	喜美子
ふるさとの真っ赤に熟れたトマトもぐ葉も幹からもトマトの香り	けい子
長い髪片手で押え小三の孫はひたすらラーメンすする	けい子
長年の夫の介護のかたわらで玄人躰の趣味の手仕事	敏子
初雪に喜び勇んで外へ出た真っ赤なほっぺの孫らいとほし	登美江
大寒の梅一輪は青空に手本のごとき凛々しい姿	好江